# 令和5年度 放課後活動指導者研修

実施報告①

実施日:令和5年5月25日

◎ 当研修は、子どもたちが地域社会の中で、安全・安心に過ごし、多様な体験活動を行うことができる放課 後子ども教室の指導者の資質向上を図るための研修です。第1回はオンラインによる研修を行い、79名の 方が御参加くださいました。

### 〇 説明「放課後子ども教室とは」栃木県教育委員会事務局生涯学習課 副主幹 黒尾 貴英

放課後活動の主な事業と特徴、意義、今後の方向性について説明がありました。受講者は、子どもが家庭の事情に左右されず、学ぶことができる環境づくりの重要性や、子どもたちの生きる力の育成のために地域と学校が連携・協働する必要性を確認しました。そして、栃木県の放課後子ども教室の現状や行われている活動の説明を受けたことにより、子どもの放課後活動に関わる知識を深めることができました。

# ○ 事例発表「学びステーション鹿沼の取り組みについて」 学びステーション鹿沼 代表 斎藤 陽子 氏

鹿沼市で放課後子ども教室を行っている「学びステーション鹿沼」の 取り組みについて発表をしていただきました。体験で子どもに力をつけ るという考えのもと、バルーンアートの体験や木工作体験でのこぎりや 金槌の使い方を学ぶといった普段ではできない活動を多く行っている そうです。異年齢の子どもたちが一緒に活動し、教え、教わる体験をす ることの重要性についてもお話いただきました。また、地域の老人会や

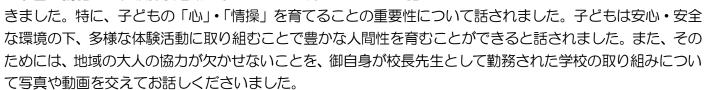


観光ボランティア等の協力を得ることで、子どもたちの体験が多彩になるだけでなく、参加した大人のつながりができ、新たな学びを得ることができているそうです。今後、学校と一緒に子どもの成長を確認できるような場をつくっていくことなど、これからの活動への展望もお話しくださいました。

# 〇 講話「放課後活動指導者に求められるもの~地域の人の協力・支援が子どもの心を育む~」 西真岡こどもクリニック 顧問 柳澤 邦夫 氏

柳澤先生は、文部科学省放課後子どもプラン推進アドバイザー、厚生労働省雇用均等児童家庭局専門官等を歴任された後、県内の小学校で校長先生としてお務めになり、現在では西真岡こどもクリニックの顧問として、学校や行政機関と連携をとりながら退院された子どもたちの支援のために活動されています。

今回の講話では、放課後活動で求めるものは何かについてお話しいただ



また、子どもの健全育成のためのポイントとして、様々な経験をさせること、異なる世代の他人と触れあう機会をつくることともに、コミュニケーションの重要性について説明され、子どもたちと接する上で重要な視点を与えてくださいました。放課後子ども教室指導者にとって必要な知識・考え方が示され、受講者が今後の活動への関わり方を改めて考える時間となりました。

#### O 協議「放課後子ども教室をとおした地域づくりについて」

受講者はグループに分かれ協議を行いました。まず、自己紹介を行い、事例発表や講話について感想の共有を行いました。その後、今後の活動にどのように生かしていけるかについて考えを述べ合いました。受講者は、協議から放課後活動をとおした地域づくりについて考えることができました。



#### ★ 受講者の声 ★

- 学びステーション鹿沼の発表は、そのまま真似をして活動してみたい内容が多く、とても参考になった。
- ・ 鹿沼の学びステーションで行っている活動などから、地域教育の大切さを感じた。活動をとおして、子どもたちがいろいろな物や事に興味をもち、意欲的に取り組むようになったお話から、様々な体験は子どもの成長・育成に欠かせないことと感じた。
- 柳澤先生のお話は、放課後活動内での子どもたちへの対応に役立ちそうな具体的な内容が多かった。 今後、活動をする上で子どもたちと接し方に悩みや迷いが出たときに参考にしたい。
- 子どもたちの健全育成には異なる世代(他人)とふれあう機会を作ることが脳や心の発達にとてもよいと 学んだ。放課後子ども教室は異なる学年と触れ合い、遊び、学ぶことができるよい場所なので、これからも 地域の人たちとも一緒に学べる機会をつくり、支援していきたいと思った。
- 放課後子ども教室を通じて、子どもたちへ体験や学びを与えるとともに、私たち大人も生きがいや学びを 得ていることを改めて感じました。多くの人が関わることで、子どもも大人も生き生きして良い地域になっていくと思います。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp